



2021年3月期 上期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 IR 室長 畑 謙一

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <https://www.terumo.co.jp/>

2020年11月5日

2021年3月期 上期 決算概要

2020年11月5日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

売上・利益ともに通期ガイダンスに対し早めの進捗

(億円)

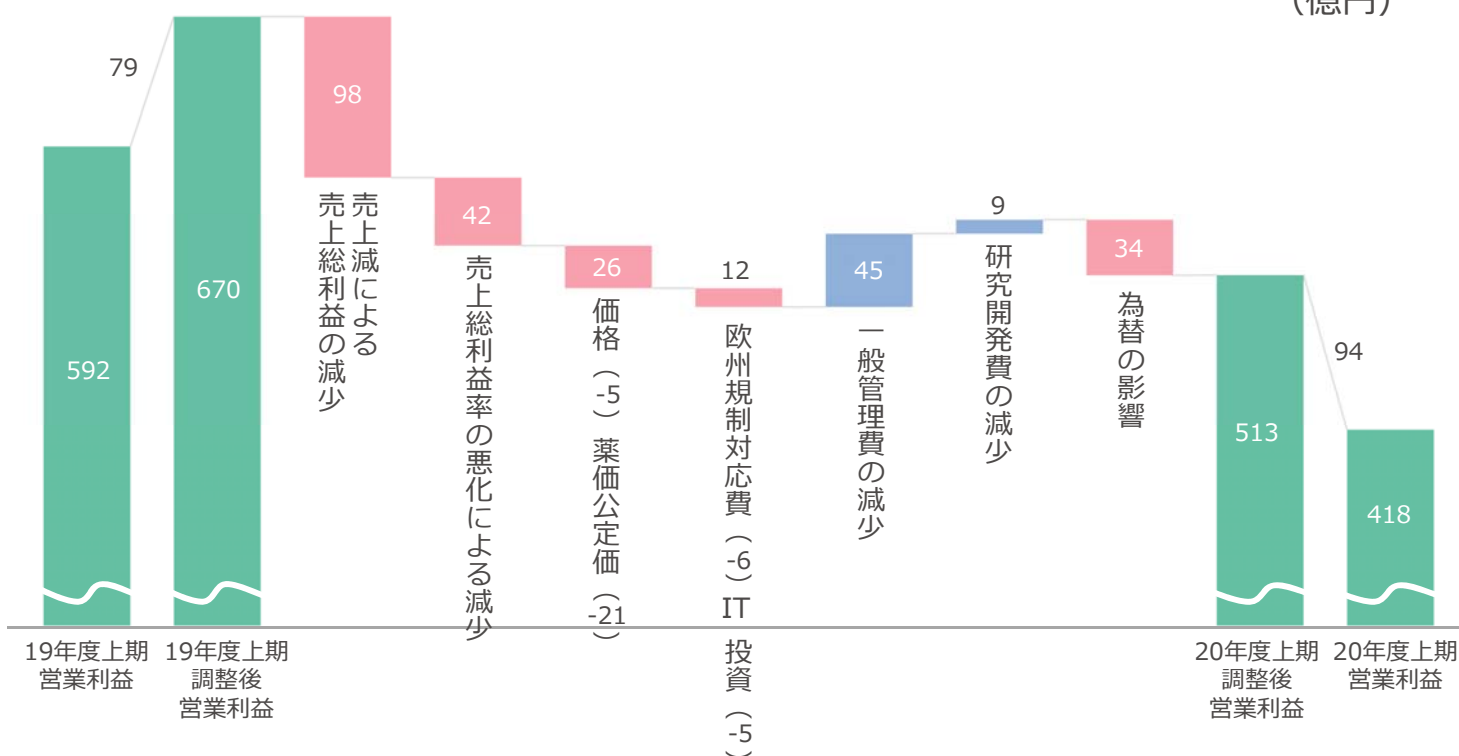
	19年度上期	20年度上期	増減率	為替除く増減率
売上収益	3,073	2,833	-8%	-6%
売上総利益	1,715 (55.8%)	1,505 (53.1%)	-12%	-9%
一般管理費	896 (29.2%)	859 (30.3%)	-4%	-3%
研究開発費	243 (7.9%)	231 (8.2%)	-5%	-4%
その他収益費用	16	4	-	-
営業利益	592 (19.2%)	418 (14.8%)	-29%	-24%
調整後営業利益	670 (21.8%)	513 (18.1%)	-24%	-19%
税引前利益	581 (18.9%)	407 (14.4%)	-30%	
当期利益	457 (14.9%)	318 (11.2%)	-30%	

期中平均レート	USD	109円	107円
	EUR	121円	121円

- 売上収益：心臓血管の需要が顕著に回復。他のカンパニーへの新型コロナ影響は依然として軽微
- 調整後営業利益：売上減少による減益。一般管理費、研究開発費はメリハリをつけたコントロール

調整後営業利益増減分析

(億円)

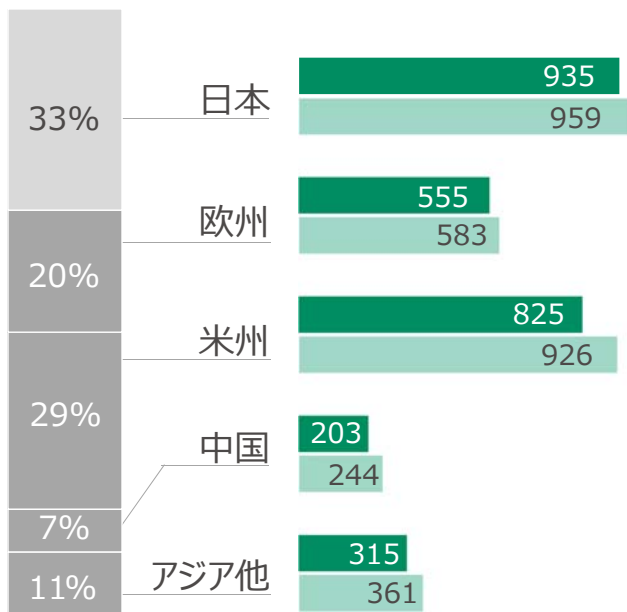


地域別売上収益

20年度上期
19年度上期

売上収益

100% = 2,833億円



売上収益前年比較

金額(億円) 増減率 コメント

() 内は為替影響除く

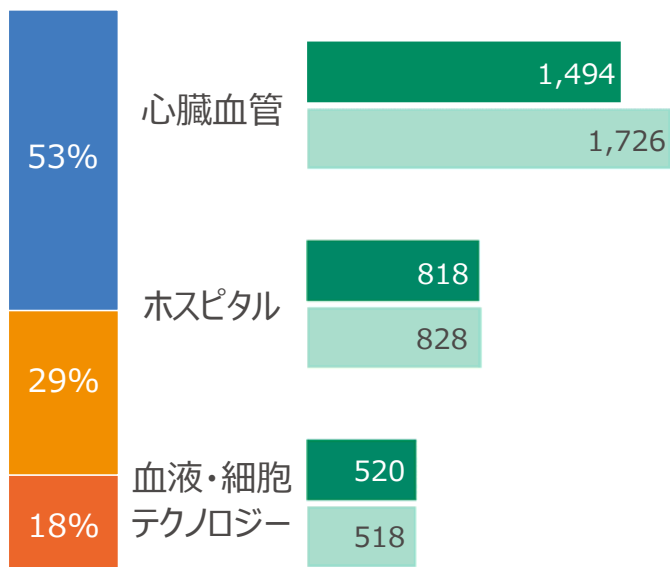
日本	-3%	心臓血管はQ1からQ2にかけて回復傾向。ホスピタルではアライアンス・疼痛緩和の新製品や感染対策製品が寄与
欧州	-5% (-5%)	心臓血管は回復し、Q2単体はプラス伸長に。ホスピタルと血液・細胞テクノロジーは一桁後半から二桁伸長と堅調
米州	-11% (-8%)	TIS・ニューロを中心に心臓血管は顕著な回復。血液センター向け製品も依然として堅調
中国	-17% (-15%)	ニューロ代理店の受注タイミングの影響を除いて、全般的に顕著な回復傾向
アジア他	-13% (-10%)	心臓血管はインドを中心にスローな回復、血液・細胞テクノロジーは輸血需要減の影響

カンパニー別売上収益

20年度上期
19年度上期

売上収益

100% = 2,833億円



売上収益前年比較

金額(億円) 増減率 コメント

() 内は為替影響除く

心臓血管	-13% (-12%)	症例延期による需要減。Q1からQ2にかけては顕著な回復
ホスピタル	-1% (-1%)	アライアンスの二桁伸長に加え、疼痛緩和の新製品や感染対策製品の需要増が、全般的な需要減の影響を相殺
血液・細胞テクノロジー	+0% (+3%)	アフレス治療数減少の影響を受けたものの成分採血装置が牽引し安定成長

心臓血管：症例延期の解消が進む

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	1,726	1,494	-13% (-12%)	TIS : 製品群全般に需要減の影響も、 Q1からQ2にかけて顕著な回復 ニューロ : 脳動脈瘤治療における 症例延期の解消が進む CV : 需要減の影響を 日本における装置売上が緩和 血管 : 人工血管、ステントグラフトともに 需要が回復傾向	-159 -45 -22 -6
調整後 営業 利益 (率)	472 (27%)	320 (21%)	-32% (-27%)	売上減による減益。 Q1からQ2にかけて製品ミックスが改善	

©TERUMO CORPORATION

7 / 13

TERUMO

ホスピタル：需要減の影響をアライアンスと感染対策製品でカバー

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	828	818	-1% (-1%)	医療器 : 日本とアジアにおいて診療制限 の影響が依然大きい 医薬品 : 輸液剤の減少を疼痛緩和がカバー DM・ヘルスケア: 体温計等ヘルスケア製品の需要増 アライアンス : 日本・海外ともに二桁伸長	-29 -2 +8 +13
調整後 営業 利益 (率)	126 (15%)	117 (14%)	-7% (-6%)	売上減少に加え、生産稼働率の低下の影響を、 アライアンスの好調な売上と、継続的な費用コント ロールにより最小化	

©TERUMO CORPORATION

8 / 13

TERUMO

血液・細胞テクノロジー：増収増益を継続

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	増減率	主なトピック	金額
()内は為替影響除く					
売上収益	518	520	+0% (+3%)	血液センター：成分採血装置の新ソフトウェアによる牽引。新型コロナ回復期血漿に向けた需要増 アフレスリス治療：症例延期による需要減	+16 -10
調整後 営業 利益 (率)	67 (13%)	89 (17%)	+33% (+43%)	製品ミックスによる売上総利益増に加え、費用コントロールが寄与し大幅増益	

©TERUMO CORPORATION

9 / 13

TERUMO

業績予想の修正

(億円)

	従来 予想	今回 修正予想	修正額
売上収益	6,000	6,000	±0
営業利益 (率)	850 (14.2%)	900 (15.0%)	+50
調整後営業利益 (率)	1,030 (17.2%)	1,080 (18.0%)	+50
当期利益	650	680	+30
予想為替レート	USD 105円 EUR 120円	106円 121円	

■ 上期に想定を上振れした分を織り込んだ修正

■ 配当に関し、5月決算時に発表した予想から変更なし

©TERUMO CORPORATION

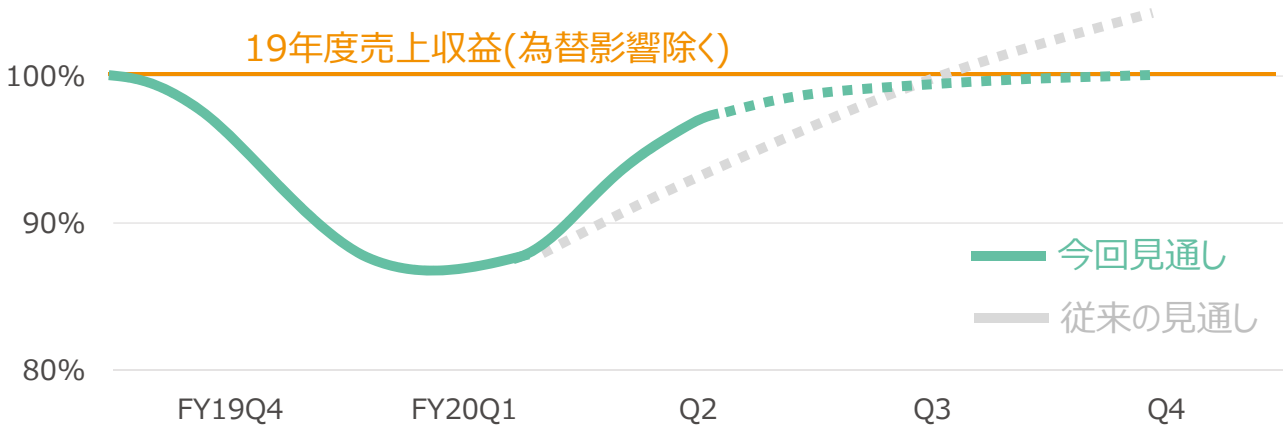
10 / 13

TERUMO

下期見通しの考え方

下期売上は8月の決算発表時点の想定よりもスローな回復

▶ グローバルに受診抑制が続き、新規症例を含め医療需要全体が減少



Q1にBCP目的で積み上げた在庫はQ3以降、適正水準へ生産稼働レベルを調整

一般管理費は一定の抑制を効かせつつ、早期回復を図るべく業績を見極めながら適切に投下

研究開発費は中長期成長の観点から、優先順位をつけてコントロール

主なトピックス

全社

- 令和2年7月豪雨の被災地支援として、日本赤十字社などを通じ支援物資を寄贈、義援金を寄付
- 中国ベンチャー・キャピタル「CDキャピタル」のファンドに参画



放射線放出ビーズ「QuiremSpheres」

心臓血管

- カテーテル肝がん治療用ビーズの開発・生産をするクイレム・メディカル社を買収
- 脚の動脈疾患用ステント「Renzan」の臨床研究を欧州で開始
- 頸動脈用ステント「CASPER Rx」を日本で発売



頸動脈用ステント「CASPER Rx」



下肢動脈疾患用ステント「Renzan」

ホスピタル

- 糖尿病領域でMICIN社とデジタル治療支援システムの共同開発を開始
- テルモ山口で製造するアダリムマブのバイオシミラーに関し米国のGMP適合取得



薬剤充填用注射器「PLAJEX」

血液・細胞テクノロジー

- スイスにおいて血小板の病原体低減化への「Mirasol」使用の承認取得



病原体低減システム「Mirasol」

20年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	ステーラブルシース	日	
	PTCAバルーン(Essen社製)	中	
イメージング	IVUSカテーテル	日	済み
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用プラグ	米	
脳	血流改変ステント	日米	済み
	バルーン付きガイドカテーテル	欧	
	頸動脈用ステント	日	済み
	袋状塞栓デバイス (Woven EndoBridgeデバイス)	日	
カーディオ バスキュラー	次世代人工肺	日	済み
	人工心肺装置(再出荷)	日	済み
	オフポンプ用臓器固定器具	グローバル	済み

領域	製品	地域	ローンチ
血管	腹部ステントグラフト	米	済み
医療器	次期シリンジポンプ	日	済み
	次期針刺し防止機構付留置針	日	
	Open-TCI用シリンジポンプ	欧亜	欧：済み
医薬品	強オピオイド鎮痛薬	日	済み
DM・ ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	
	血糖測定システム	日	済み
	次期体温計	日	済み

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2021年3月期 上期 連結決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2020年3月期 上期累計			2021年3月期 上期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	16,833	102,038	118,872	14,449	-14.2%	88,485	-13.3%	102,935	-13.4%
ニューロバスキュラー	1,824	20,242	22,067	2,003	9.8%	15,611	-22.9%	17,615	-20.2%
カーディオバスキュラー	4,804	16,986	21,790	5,233	8.9%	14,345	-15.5%	19,578	-10.2%
血管	1,290	8,576	9,866	1,176	-8.9%	8,119	-5.3%	9,295	-5.8%
心臓血管カンパニー	24,752	147,844	172,597	22,862	-7.6%	126,562	-14.4%	149,424	-13.4%
医療器	25,807	12,492	38,299	24,189	-6.3%	11,207	-10.3%	35,396	-7.6%
医薬品	22,352	-	22,352	22,110	-1.1%	-	-	22,110	-1.1%
DM・ヘルスケア	10,371	1,453	11,824	11,255	8.5%	1,348	-7.2%	12,604	6.6%
ホスピタルシステム小計	58,531	13,945	72,477	57,555	-1.7%	12,555	-10.0%	70,111	-3.3%
アライアンス	6,450	3,887	10,337	7,269	12.7%	4,410	13.5%	11,680	13.0%
ホスピタルカンパニー	64,981	17,833	82,815	64,825	-0.2%	16,966	-4.9%	81,791	-1.2%
血液・細胞テクノロジーカンパニー	6,077	45,678	51,756	5,693	-6.3%	46,259	1.3%	51,952	0.4%
その他	110	-	110	127	15.5%	-	-	127	15.5%
計	95,921	211,356	307,278	93,508	-2.5%	189,788	-10.2%	283,296	-7.8%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥108.60)
(EUR1=¥121.40)

(USD1=¥106.93)
(EUR1=¥121.34)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

2020年3月期
上期累計

2021年3月期
上期累計

営業キャッシュ・フロー	49,696	41,609
投資キャッシュ・フロー	△ 39,709	△ 44,399
フリーキャッシュ・フロー	9,986	△ 2,790
財務キャッシュ・フロー	△ 12,754	46,417
現金及び現金同等物の換算差額	△ 2,809	△ 948
現金及び現金同等物の増減	△ 5,577	42,678
現金及び現金同等物の期首残高	122,982	166,898
現金及び現金同等物の期末残高	117,405	209,577

参考情報

2020年3月期
上期累計

2021年3月期
上期累計

2021年3月期
業績予想

研究開発費	24,345	23,104	48,000
設備投資額	43,211	35,252	85,000
減価償却費及び償却費 *1	22,748	24,138	52,500
基本的一株当たり当期利益(円)	61.44	42.21	90.07

*1 使用権資産償却費を含んでおりません。